

第 章 現地調査

-1 リコー i-salon 見学会報告

現地調査先：(株)リコー本社事業所 i-salon

住 所：東京都中央区銀座 8-13-1

実 施 日：2006 年 5 月 30 日

参 加 者：11 名

記 録：伊藤 真由子*

1 . はじめに

当委員会では、毎年、先端の研究や技術開発を行っている研究所・企業の視察や調査見学会を行なっている。今回上記要領で(株)リコー本社事業所にある i-salon 見学会を行なったので報告する。

2 . i-salon 概要

(株)リコーは、より質の高いワークフロー、ワークスタイルの実践の場として、2005 年に本社事業所として新社屋をオープンした。

i-salon は、その本社事業所の 2F にあり、リコーの掲げる「3つのコアバリュー」(知識創造を簡単に、地球にやさしい 人にやさしい)を具現化し、提案するスペースとなっている。



図1 モニュメント「RING of TRUST」

本社事業所 1F のエントランスには、i-salon シンボルモニュメント「RING of Trust」があり、「メビウス

の輪」をモチーフとしている。その、始まりと終わりが一体化し表裏の概念のない無限の連続性に、お客様にとって永遠のパートナーであり続けたいという終わることのないお役立ちの精神を重ねている。

なお、「i-salon」は知的 (intelligent) で革新 (innovation) なリコーの姿を紹介しながら、お客様と情報 (information) を交換するとのコンセプトで、3つの頭文字の「i」をとって「i-salon(アイサロン)」と名づけられた。

i-salon は主に、「コンセプトシアター」「ソリューションギャラリー」に分かれている。(他にホールや、プレゼンテーションルーム有り)

それぞれの概要は以下の通りである。

1) コンセプトシアター



図2 コンセプトシアター

中には、大型ディスプレイと、階段状の閲覧席が配置されている。現在のリコーを知っていただくために、

* 技術調査小委員会委員

ビジョンや企業姿勢、グローバルネットワーク、実践事例などを大型のディスプレイを使って、映像でお客様に紹介する場である。また、双方向の映像システムを配置することで、TV 会議への対応も可能としている。

2) ソリューションギャラリー

ソリューションギャラリーは、カスタマーゾーン (Customer Zone)、テクノロジーゾーン (Technology Zone)、アプリケーションゾーン (Application Zone)、フューチャーゾーン (Future Zone) の4つのゾーンで構成されている。



図3 ソリューションギャラリー

カスタマーゾーンでは、お客様とのコミュニケーションの中から真の課題を探り、提案、導入に至った、代表事例の、導入に至る経緯や、提案内容、導入効果を紹介している。

テクノロジーゾーンでは、リコーの技術の紹介をしている。コピー単体機からネットワーク対応型複合機へ進化してきた複写機は、今更なる進化を遂げ始めている。その進化型 MFP はインテリジェント機能が搭載され、基幹システムとも連携することが可能な進化型 MFP のパフォーマンスを、ナレーターと i 博士の掛け合いで、事例を交えて紹介している。たとえば、MFP に搭載した新技術「Embedded Software Architecture (ESA)」により、お客様の様々なニーズに応える機能を複合機に埋め込むことで実現した、機能拡張やグループウェア・基幹システムとの連携や、バーコード技術(バーコード、QR コード、地紋による情報埋め込み)を紹介している。

アプリケーションゾーンでは、リコーが得意とするドキュメントソリューション、プリンティングソリューション、MFP や LP の技術を、トータルで紹介してい

る。たとえば、プリンターへ出力指示を出したあと、本人が MFP で IC カードをかざすと、プリントできる機能は、他人からの盗み見防止、取り忘れ防止に加え、間違えて印刷指示をしてしまった文書を削除することもできる。この機能は、本社事業所で実践している事例である。

フューチャーゾーンでは、MFP・LP メーカーという側面を越えた未来のオフィスを快適にするリコーの未来技術研究の成果を、デモンストレーションを交えて紹介している。例えば、人形の演奏家をステージに置くと音楽が流れたり、ミーティングテーブルの上に ID カードを置くと、カードの持ち主のパソコンにアクセスし、会議中でも必要なファイルにアクセスすることができるなど、リコーの画像認識テクノロジーを生かした機能を見ることができる。

4. 最後に

ここでは、紹介していないが、Theme Wall (テーマウォール) と名づけられた通路にも「植物由来プラスチック」や、高生産性・利便性・省エネを実現する「カラーQSU 技術」など、リコーの地球環境に配慮した様々な取り組みなども紹介している。

今回の、リコー i-salon の見学会を通じ、リコーが培ってきた技術と、それをベースに実践・展開しているソリューション・サービスについてトータルに見ることができた。また、D-Paper など現在開発中の商品を見ることができ、既に十分と便利になってきたオフィスワークスタイルであるが、まだまだ新たな変化が可能だということも、興味深く感じることもできた。

以上

禁無断転載

2006 年度

事務機器関連技術調査報告書(“ -1 ” 部)

発行 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会
技術委員会 技術調査小委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33

NP 御成門ビル 4F

電話 03-5472-1101

FAX 03-5472-2511